

# ニュースレター No.22

発行：2002年9月

## 田んぼが生き物の楽園ってほんと？

ちょうふ DE 田んぼ日記  
その16

みなさん、こんにちは！ こちらは調布市の佐須（さず）で米作りをしている「田んぼの学校」です。参加者は10家族で約40人。面積は200㎡（2アール）で小さいけど、お米は米俵にすると2俵半（約150kg）も収穫できるんです。けど、今年はだいじょうぶかなあ？



レンゲで花飾りを作ったり、田植えの時にはドロンコ遊びや水路でザリガニ採り。スズメを追っ払う案山子（かかし）作りのあとは、稲刈りをしてお餅つき。なんか一年中遊んでみたい…。

みんなも知っていると思うけど、田んぼはたくさんの生き物たちにとっては、格好のすみかなんだ。春のレンゲ畑にはミツバチがせっせと蜜を集めに来たり、テントウムシの幼虫が脱皮して成虫に育つところを見ることもできるよ。畑を耕すとゴミムシ類やミミズやゲジゲジがぞろぞろ出てくるけど、ときどきコガネムシの幼虫や穴掘り名人のケラも出てくる。

畑に水を入れた田んぼは急に様子が変わっちゃう。すぐにカルガモが飛んできて虫を食べたり、チョウが水を飲みに来てくる。田植えの後は大変。



ボウフラやホウネンエビ、オタマジャクシが大量に生まれると、ヤゴやガムシ、ゲンゴロウの幼虫との戦いが始まる。稲に害虫がつくとクモがエサとして食べてくれるんだけど、クモはツバメに食べられてしまうんだ。実は田んぼは生き物たちにとって生死をかけた戦いの場所なのかも。みんなも近くの田んぼで観察してみてね。

トンボが飛び交う夏の田んぼでは稲穂がすくすく育っています。  
(受講生兼通信員 中原)



### ◆田んぼの仕事◆

- 4月 苗床作り・あぜ草刈・種まき
- 5月 荒越し・くろつけ
- 6月 しろかき・田植え
- 7月 草取り
- 8月 あぜ草刈
- 9月 かかし作り
- 10月 はざかけ準備・稲刈り・脱穀
- 11月 もみすり・精米
- 12月 落ち葉拾い(堆肥作り)



稲の害虫ツトムシの巣  
2~3枚の葉を糸で  
くくって巣を作ります

成虫  
イチモンジセセリ



## 夏休み特集!

# 楽しかったね。夏休み!

調布には自然がいっぱい!  
みんな何して遊んだかな?  
今回は、みんなが参加してくれた  
イベントを紹介します。



### こどもエコクラブ ～葉っぱ調べ隊～

8月10日(土)

調布駅南口広場にはたくさんの木があります。こどもエコクラブでは、「私の木」を決めてみんなで観察しています。この日も葉っぱの拓本をとったり、スケッチしたり、写真を



↑観察記録カード記入中!

撮ったり、夏の木のようなすを観察しました。



観察記録カード→

ちょうど白とピンクのサルスベリの花がとてもきれいに咲いていました。「花びらは何枚かな?」よ〜く見るとフリル状の花びらが6枚ついていました。木にさわってみるととてもツルツルしていません。サルもすべり落ちるほど…というところから、この名前がついたそうです。



↑サルスベリの花

青い実をたくさんつけている木もありました。秋には何色になるのかな?秋の観察が楽しみです。

### 野川・里山探検隊 ～デイキャンプ～

8月17日(土)

午後2時から、野川・里山探検隊のデイキャンプをかに山でおこないました。講師は神代農場の小池さん。参加者はこども25人、親27人それから5人のサポーターでした。

当日はテントの設営、昆虫トラップ作りとトラップのしかけをし、それからエゴノキで木笛を作り、夕飯のカレー作りを行いました。木笛作りは難しいかなと思っていましたが、全員音の出る笛を作ることができました。



←トラップ作り



音が出たよ→

夕飯は食べられるご飯になるか、みんなでドキドキしましたが、とても上手にできました。みんな大きなけがもなく無事終了し帰りました。

↓夕食の準備と夕食の様子





## 入間・樹林の会 ～夏休み自然教室～

8月18日(日) ☂

台風13号の影響で、お天気は雨。安全を考慮して、中止にしました。みんなが座れるように



切り株の椅子を用意したり、麦茶を用意したり、準備万端だったのに、とても残念です。

←切った木を利用したイス

イベントは中止になりましたが、集まったみんなで林の様子を見に行きました。雨の中、オレンジ色のキツネノカミソリの花がきれいに咲いていました。



キツネノカミソリの花→

## 田んぼの学校 ～野川の水生生物を調べよう～

8月24日(土) ☁ → ☀

川にはコイ、フナ、メダカなどの魚や、ザリガニ、トンボの幼虫のヤゴだけでなく、他にもたくさんの生き物がいるのを知っていますか？田んぼの



学校では、野川の細田橋の下で川にすむ生き物



調査を行いました。講師は「身近な川を見守る会」のEさんにお願ひしました。

←↑観察の様子

目の細かい網で、川底や石にくっついている生き物を捕るのですが、小さくて目をこらさないと見逃してしまいそうです。いつも観察しているイトミミズ、サカマキガイ、ヒル、サホコカゲロウの幼虫、ミナミヌマエビ、ヒラタドROMシの幼虫のほかに、この場所では見たことのない、きれいな水にすむブユの幼虫が見つかり驚きました。拡大鏡を通して見る小さな生き物たちは、動きもユーモラスでとってもかわいいですよ。



左：ブユの幼虫（大きさ5mm）

右：サホコカゲロウの幼虫（大きさ5～7mm）

## 凸凹市民の会 ～凸凹山の自然と遊ぼう～

8月25日(日) ☀

久々の快晴！水遊びには最高の天気でした。用意したビールケースとブルーシートを使って、プールを作りました。最初は足だけだったのに、だんだん水がたまってくると洋服のまま転がることもも…



↑プールで水遊び

大きなシャボン玉→



疲れたら蚊帳(かや)の休憩所で一休み。蚊帳の中では捕まえたバッタが飛び跳ねていて、大きな虫かごのようでした。蚊帳→



蚊帳の隣でシャボン玉作りに挑戦。いつもより大きなシャボン玉にみんな大喜び。作って、飛ばして、つかまえたり、つぶしたり。

お昼も過ぎた午後1時、みんなでスイカを食べて解散しました。



いつもはこんな  
ことしています。

# グループ紹介

## ◆ こどもエコクラブ

だれでも  
参加OK!

「葉っぱ調べ隊」と「野鳥観察」の2つのグループがあります。次回の予定は  
9月14日(土) 葉っぱ調べ隊  
10:00~ 樹木調査と壁新聞作り  
9月28日(土) 鳥と自然調べ隊  
9:30 京王多摩川駅前集合 多摩川周辺

## ◆ 野川・里山探検隊

野川の生物観察、カニ山でのキャンプ、多摩川の鳥の観察や秋の虫観察、ドングリ細工、七草探し、炭焼きなど自然体験活動をしています。  
対象：市内在住・在学の中学生以下  
申込み：毎年度 春に隊員を募集しています。  
(今年度の募集は〆切りしました。)

## ◆ 入間・樹林の会

だれでも  
参加OK!

入間町1丁目の雑木林かんりさぎょうの管理作業(木を切ったり、落ち葉を集めたり)をしたり、植物を調べたりしています。毎月第3日曜日が活動日です。  
次回活動日：9月8日(日) 9:30~  
入間地域福祉センター集合

## ◆ 凸凹市民の会

だれでも  
参加OK!

上石原2丁目の布田崖線緑地がいせんりょくちをどうしたらいいかをみんなで考えています。ふだんは鍵がかかっていて入れませんが、毎月第4日曜日に開放しています。  
次回開放日：9月22日(日) 10:00~15:00

参加してね!  
秋のイベント

# お知らせとお願い

## ★ 水辺の生き物調査 (雨天中止)

(水辺の生き物調査実行委員会)

野川に住む小さな生き物を調べます。生き物の種類から水質がわかります。

日時：9月29日(日) 9:15~12:00

集合場所：京王線 国領駅北口

参加費：100円(保険料他)

定員：30名

申込み・問合せ：調布市 環境保全課

※ 水の中に入れる服装で来てください。

## ★ 田んぼの学校 収穫祭

田んぼでとれたお米を使って、もちつきをします。つきたてのおもちを食べてみませんか?

日時：11月23日(祝) 10:00~

場所：佐須の田んぼ

参加費：250円位

※ 詳しくはニュースター10月号で  
お知らせします。



## 教えて! ★ 私の気になる木

(調布市環境モニター)

近所にある好きな木、おもしろい木、残したい木、変な木などを教えて下さい。記入用紙は環境保全課に用意してあります。

たくさんの情報を集めて、今後の活動に生かしたいと思えます。



〆切り12月末

## 編集後記

夏休み特集号は、いかがでしたでしょうか? 夏休みは終わっても、私たちの活動は終わりではありません。これからもいろいろな活動にどんどん参加して下さい。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

荒井・倉林

TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyoun@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会